

令和8年度 泉区地域と学校をつなぐ研修会（報告）

6月30日（火）、根白石市民センターにおいて、「泉区地域と学校をつなぐ研修会」兼「第2回学びの連携研修」を開催し、泉区内の地域連携担当教員をはじめ、多くの地域団体の皆様にご参加いただきました。

当日は、教育局職員や校長先生、地域団体の皆様から、それぞれの取り組みや思いが紹介されました。また、参加者同士が共通のテーマについて話し合い、交流を深めるなど、学びの多い充実した研修となりました。

今回の研修で得られた学びとつながりを生かし、今後も学校・市民センター・地域団体が連携しながら、子どもたちの学びの機会の充実と、団体同士の連携がさらに進むことを期待します。

1 参加者

所 属	人 数	所 属	人 数
小・中・高等学校 （内嘱託社会教育主事）	49 (13)	学校支援地域本部	32
市民センター	15	学校運営協議会	3
子育てふれあいプラザ	1	子ども会育成会	2
行政関係各課	8	児童館・児童センター	21
		地域で活動する各種団体	2

計 133名

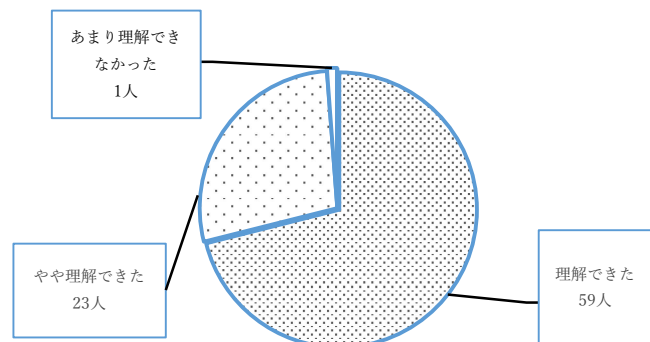
2 内容

（1）研修Ⅰ

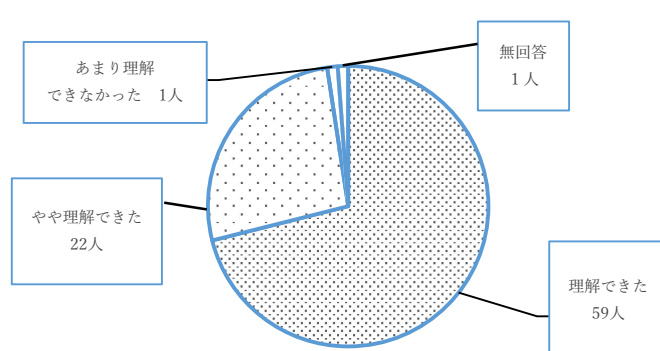
○「地域連携担当教員の役割」 学びの連携推進室主任指導主事 遠藤 嘉文

○「ここから広がる 地域学校協働活動」 生涯学習課主幹 大淵 満男

地域連携教諭の役割について
理解できましたか。



地域学校協働活動について
理解できましたか。



（2）研修Ⅱ（実践発表等）

「ゼロからつながりをデザインする市民センター」（南中山市民センター）



地域に活動や担い手があるにもかかわらず「つながっていない」という課題に着目し、それらを結び付けて多世代が交流する場を創出した実践が紹介されました。縁日形式や複数の体験ブースを取り入れるなど、すべてのこどもが参加しやすい工夫が見られました。また、市民センターがコーディネーターとして人と人をつなぐことで、地域の関係性を動かしていった点について理解を深めることができました。

『やりたい!』から広がる児童館のカタチ」(黒松児童館)

「こどもの こどもによる こどものための児童館」をテーマに、こどもが主役となる居場所づくりの実践が紹介されました。こどもの「やってみたい」という声から活動が生まれ、挑戦や対話を通して主体性や自信が育まれている様子が共有されました。また、中学生サポーターとの関わりをはじめとした異年齢交流が広がり、こども同士が学び合いながら成長していく姿の大切さを改めて認識する機会となりました。



「子どもたちと地域の大人が共につくる地域活動」(TERAMURAまなこみ)



コロナ禍明けにおやじの会が開始した小規模な取組を基に、規模を拡大した実践が紹介されました。「大人が担う活動」から「子どもと地域の大人が共に行う活動」へと発展し、芋煮会や餅つきなどを通して子どもたちの活躍の場が生まれていました。活動の中では、大人の声掛けにより子どもたちの継続的な参加が促され、多世代の関わりが深まっている点が共有されました。また、地域資源を生かし、ジュニアリーダーの協力を得ながら持続可能なコミュニティづくりを目指している点が印象的でした。

「交流が地域を動かすとき」(泉ヶ丘小学校支援地域本部)

地域と学校をつなぐことを重視し、日常的な関わりの積み重ねから世代間交流を生み出す実践が紹介されました。昔遊びや伝統文化、あいさつ運動などを通して人と人とのつながりを広げ、「子どもたちが過ごしやすい地域づくり」を目指している点について、その意義を改めて感じることができました。



「どする?こする?～はじめのいっぽ～」(市名坂小・教育局)



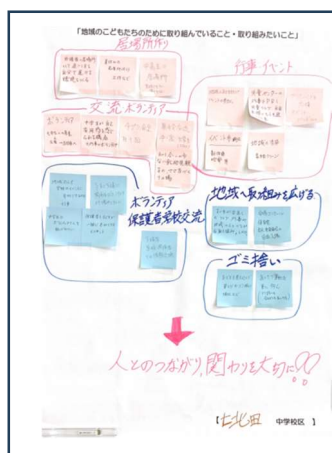
「地域連携教諭って何をするのか」という疑問をテーマに、役割や具体的な動き方について、嘱託社会教育主事・生涯学習課・学びの連携推進室の3者それぞれの立場から紹介されました。また、参加者の質問に講師がその場で応答する双方向型で進行され、実務に即した理解を得る機会となりました。地域連携担当になって間もない方を中心に、地域との連携に関心のある参加者にとっても、有意義な内容となっていました。

（参加者アンケートより「研修Ⅱ 実践発表について」）

- どの地域も地域の方が子どもたちのために取り組まれていることに感銘を受けましたし、とても参考になりました。我が地域にも活かしていきたいと思います。
- 地域との関係づくり、こどもへの効果とテーマを絞って進めていただき、簡潔で分かりやすかったです。特に、「学校だけで担うのは難しい」からこそ、地域と一緒に地域を巻き込むという言葉が印象的でした。
- それぞれ興味に合わせて研修を選べるスタイルがよかったと思います。
- 一方が負担感を感じていては、持続可能な活動とはならないため、様々な事例を知ることは大変有意義であった。

（３）研修Ⅲ（中学校区グループワーク）

中学校区ごとに分かれて「地域の子どもたちのために取り組んでいること・取り組みたいこと」をテーマに情報交換を行いました。



中学校区のグループワークの記録を
ご覧になりたい方は、こちらからお入り
ください。

全グループの記録をご覧いただけます。



←グループワーク記録（七北田中学校区）

（参加者アンケートより「研修Ⅲ 中学校区グループワークについて」）

- 異なる団体であっても、共通して大切にしたい、活かしたいと考えている地域資源があることがわかりました。それぞれの方法で地域とのかかわりを探っている現状がわかり、それぞれの強みや繋がりを生かしたかかわり方を考えるきっかけとなりました。
- まさに顔の見える関係のきっかけになりました。連携の糸口が見えたように思います。
- 付箋に書いてからの話し合いは、話す内容を整理する、まとめるなどの上では有効かもしれないが、ポイントを絞って深めるためには時間が必要だと感じた。

(参加者アンケートより「本研修会の持ち方や内容について」)

- 同じ泉区内でも、地域や小学校と中学校との違いから取り組んでいる状況は様々である。また、小中学校の地域連携担当者は 1 つの校務分掌であるため、年度で変更になることが多い。本研修は、各団体の取組を知る機会にも校区内の地域連携担当者との顔をつなぐ機会にもなり、大変有意義なものであったと考える。次年度も同様な形での研修をお願いしたい。
- 今年度初めて地域連携担当となり、何をすればよいのかがよく分からないでいたが、本研修に参加していろいろな話を伺うことができ、大変勉強になった。ありがとうございました。
- 子どもたちを育てるための地域とのつながりを大切にするという話題のもと、具体的な話題で話を聞くことができとてもよかった。
- 本研修では、多くの地域の方の考えをお聞きすることができ、自分の知見を広げることができました。研修の流れも研修ⅠとⅡの内容を受けて、研修Ⅲで、総括するものとなっていたので、とてもわかりやすかったです。
- 普段話すことのない方々と話せて刺激になっております。できることを話せるまで時間があればもっと良かったです。
- 現場で工夫されている具体的な事例を聞くことができ、非常に分かりやすい研修でした。グループワークでは他施設の職員と意見交換ができ、視野を広げる良い機会となりました。今後もこのような実践事例の共有や、参加者同士が交流できる時間を継続して設けていただけると、より学びが深まると感じます。
- 学校だけではなく、市民センターや、児童館などの職員と顔を合わせて情報交換を行うことができる貴重な機会となった。
- 暑さ対策として各教室をリモートでつないでの開催となりましたが、涼しく安全な環境で実施できたことは本当にありがたいことでした。
- 他の地域の状況も考慮しなければならないと思うが、時間に余裕がなかったので、14 時 30 分ではなく、14 時開始でもよいのではないか。毎年、中学校区ごとのグループワークが、結果的に調整時間になってしまい、中途半端な話合いで終わっているように思う。
- 研修Ⅲの時間をもっと多く確保していただけると良い。
- 各研修室のエアコンの設定温度が低すぎて寒かった。
- 和室は足が疲れるので輪番にしてほしい。靴の脱ぎ履きが大変。

アンケートへの御協力ありがとうございました。「顔の見える関係づくり」「他団体の実践事例の共有」「中学校区ごとの情報交換」について評価していただきました。特に、多様な立場の参加者が直接対話し、こどもを中心とした地域連携について考える機会となった点にご好評いただきました。一方で、「もっと話したい」「もっと交流したい」という声や会場のレイアウト、空調についてのご意見をいただきました。次年度に向けては、情報交換や交流の時間確保、会場運営の改善を図り、より良い研修会になるよう努めてまいります。

なお、アンケートの記述欄に関しましては、スペースの関係上一部を抜粋させていただいておりますのでご了承ください。